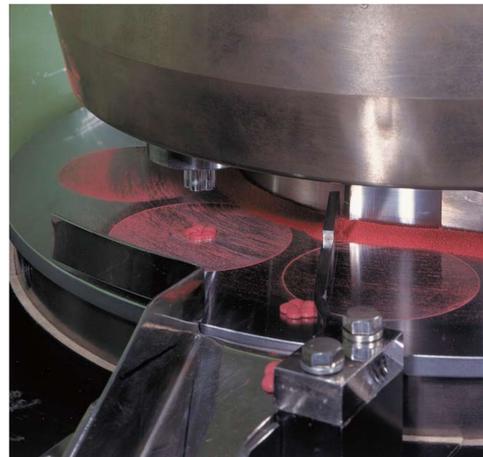


豊かな経験力と技術力で日本の香り文化を担う

香老舗 松榮堂

知恵の使いどころ

粉末原料を圧縮し、お香を成型する技術を開発。この圧縮成型法は、従来の製造方法に比べて、色彩・形状・表面加工（光沢加工・模様加工）などの表現の広がりをもたせた革新的技術。これまでの製造方法における乾燥工程がないため生産のリードタイムの短縮とともに、反り、変形、収縮等の軽減により大きな生産性の向上につながった。



強み

環境に配慮したパッケージや圧縮成型法によるお香の製造など、新たな活動への原動力は、すべて社内の熱い思いから生まれる。質の高い社内文化が土台となり、時代に合ったお香の楽しみ方を提案する。江戸時代より伝わる職人の手業を伝える「香房」、機械化により品質の安定した製品を供給する「長岡京香場」。この2つのものづくりの現場が日本の香りの伝統技術の継承を支えている。



プロフィール

創業は宝永2年（1705）。以来12代目に至る今日まで、一貫して薫香製造を行う。伝統に培われた豊かな経験力・情報力・技術力をもとに「香百般」を生み出す。さらに明治時代、わが国初の薫香の対米輸出をはじめ、製造工程の機械化、ウェブショップの開設など次代を見据えた活動を行う。また、出版やワークショップなど、さまざまな文化活動を通して、日本の香り文化の継承と発展にも取り組む。



実績・成果

圧縮成型法で製造されたお香は、消費者の香りに対する意識の高まりもあり、宗教用具販売店だけでなく、ライフスタイルにこだわる若者市場にも顧客を広げた。欧米、特にヨーロッパにおいては、高いデザイン性が求められる見本市へ挑戦を続けている。



京都・知恵ビジネス・ワークショップ